

# 九州電力の地震観測結果

川内原子力発電所周辺の地震観測結果が9月に公表されました

九州電力では、安全性・信頼性向上に向けた取組として、川内原子力発電所周辺の地震活動状況をより詳細に把握するため、2017年度に地震観測体制を強化し、2018年度から地震観測を開始しています。

## 地震観測結果について

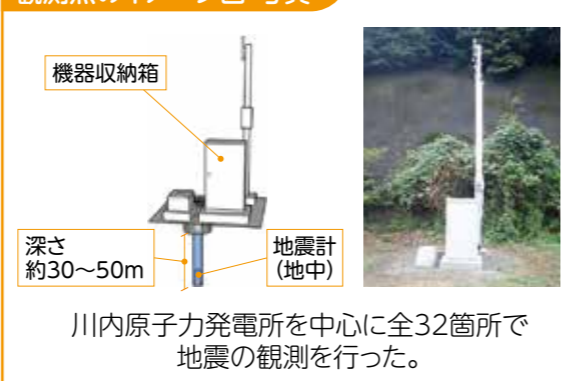
### ①2020年度(1年間)の地震活動

- 発電所近傍(半径10km圏内)では、地震が少なく地震活動は比較的低い。
- 発電所周辺(半径50km圏内)では、大きな地震は発生していない。

### ②過去(20年間)の地震活動

- 発電所周辺の地震活動に大きな変化はない。

観測点のイメージ図・写真



川内原子力発電所を中心に全32箇所で地震の観測を行った。

現状において川内原子力発電所周辺では、大きな地震が発生しておらず、川内原子力発電所の安全性に影響を及ぼすような地震活動は認められない。今後も継続的に観測を行い、川内原子力発電所周辺の地震活動を注視していく。

## 川内原子力発電所 状況報告

### 運転状況

(令和3年10月末現在)

#### 1号機



#### 第26回 定期検査中

令和3年10月17日から定期検査のため運転を停止しています。

#### 2号機



#### 通常運転中

次回の定期検査は令和4年2月下旬を予定しています。

### 放射性廃棄物の管理状況(1・2号機合計)

	《累積放出量》	《年間放出管理目標値》
気体廃棄物	9.6×10 <sup>8</sup> ベクレル (令和3年4月～9月末現在)	1.7×10 <sup>15</sup> ベクレル
液体廃棄物	ND(検出されず) (令和3年4月～9月末現在)	7.4×10 <sup>10</sup> ベクレル
固体廃棄物	《貯蔵量》	《貯蔵容量》
	27,687本 (令和3年9月末現在)	約37,000本 ※200リットルドラム缶相当

### 使用済燃料の保管状況(令和3年9月末現在)

	1号機	2号機
使用済燃料 (一部照射済燃料含む)	1,284体	970体
保管容量	1,868体	1,356体

原子力だより  
かごしま

NO.143

〈発行〉 鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL 099-128612377

# 原子力だより かごしま

No.143

令和3年度 第2号



## 川内原子力発電所1,2号機 「特別点検の実施」と 「知事の要請」について

## 第15回 鹿児島県原子力安全・避難計画等 防災専門委員会

## 『川内地域の緊急時対応』の改定

原子力安全対策連絡協議会開催  
環境放射線調査結果  
九州電力の地震観測結果



写真/阿久根駅(阿久根市)